

受賞者氏名	小堀哲夫	
所属	デザイン工学部建築学科	
受賞年月日	2025 年 8 月 5 日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	一般社団法人 ニューオフィス推進協会	
受賞名	2025 年度 第 38 回 日経ニューオフィス賞 ニューオフィス推進賞／経済産業大臣賞	
受賞(研究)内容詳細	作品名：ボッシュ・グループ本社オフィス	
	概要： ボッシュは世界最大級の自動車システムサプライヤーで、グローバル規模でビジネスを展開しています。ボッシュ・グループ本社オフィスは日本本社と研究開発機能を備え、約2千名が入居、都筑区の区民センターと併設して一体開発されました。「緑豊かな自然とつながるワークプレイス」、「グラーデーションなワークプレイス」をコンセプトにオフィス空間を創出。エンジニアの働き方、開発環境を重視し、ハード、ソフトを検討しました。「One Bosch」で、アジャイルかつフレキシブルな開発環境を提供する、洗練されたオフィスです。	
	データ：	
	企業・団体名	ボッシュ株式会社
	所在地	神奈川県横浜市都筑区中川中央 1-9-32
	オフィスの種類及び建物区分	本社、研究所／自社ビル／新築
	オフィスの延床面積	42703m2
	オフィスの従業員数	2000 人
	業種	自動車・自動車部品
	使用開始時期	2024 年 4 月
	応募オフィスの	企画者・社内 FUSION プロジェクト
	//	設計者・社内 FUSION プロジェクト, Global Real Estate
	//	施工者・社内 同上
	応募オフィスの	企画者・社外 ジョーンズ ラング ラサール (株)
	//	設計者・社外 (株) 大林組、(株) 小堀哲夫建築設計事務所
	//	施工者・社外 同上

	建物の	企画者・ 部門社内	FUSION プロジェクト
	//	設計者・ 部門社内	FUSION プロジェクト, Global Real Estate
	//	工事者・ 部門社内	同上
	建物の	企画者・ 部門社外	ジョーンズ ラング ラサール (株)
	//	設計者・ 部門社外	(株) 大林組
	//	工事者・ 部門社外	同上
	URL		https://corporate.bosch.co.jp/

受賞者氏名	小堀哲夫	
所属	デザイン工学部建築学科	
受賞年月日	2025 年 10 月 15 日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益財団法人日本デザイン振興会	
受賞名	2025 年度グッドデザイン賞	
受賞(研究)内容詳細	作品名：ボッシュ FUSION プロジェクト 概要： 同一敷地内に、ボッシュ本社・研究所、ボッシュ ホール、プラッツ（全天候型広場）を統一のデザインコンセプトで一体開発。働きやすいオフィス・研究所の構築とともに、一般開放された本社 1F のカフェやロビー、ホール、プラッツを含め、地域文化振興と賑わいの創出のための公民連携の総合的なマネジメントの仕組みを構築・運営。 背景： 本計画は、横浜市の敷地にボッシュが事業提案を行い、ボッシュ本社と区民文化センターを一体開発したものである。計画地は、縄文時代からの遺構が残る歴史ある地域であり、「グリーンマトリックスシステム」という斜面を中心に緑豊かな自然と遺構を残す形で宅地造成されている。ボッシュは 1911 年に横浜で日本の事業を開始、「クリスマスマーケット in 都筑」に参加するなど地域の賑わい創出にも貢献してきた。以上を踏まえ、敷地の歴史的文脈（地層）と緑環境のポテンシャルを生かし「歴史・地域・自然との融合(Fusion)」をテーマに周辺環境とのつながりを意識した結果、プロジェクト名称も Fusion とした。又、ボッシュオフィスは、事業拡大・開発能力強化のためコラボレーションを促進し、魅力あるオフィスづくりを行うべく、開発が中心となる「エンジニアファースト」、且つアジャイルな働き方を実現する環境を意図したデザインとした。 経緯： ボッシュ本社とボッシュ ホールの外装には、「都筑の地層」をモチーフにした同一形状の水平ルーバーを設置。ボッシュ ホールの水平ルーバーの色は「歴史ある都筑の文化」を表現するブラウン、ボッシュ本社は「グローバルテクノロジー企業」と横浜をイメージするホワイトとし、デザインの統一感を生み出すとともに、内部空間の空調負荷低減にも寄与している。さらに、ボッシュ本社では「緑豊かな自然」をオフィス空間に取り込むため、「バルコニー」を配置し、内部アトリウムの壁面緑化とのつながりを演出すると共に、トップライトを介した自然換気システムを導入。又、両施設ともに内装仕材には「木材」や「本物の植栽」等、自然素材を随所に使用して、快適性向上と環境負荷低減を狙った。また、オフィスデザインは、オープンラボと執務デスクの近接、機能が重なるグラデーショナルオフィスとし、アジャイルな開発を意図したデザインとした。 デザインのポイント： 1. 公民連携で文化創造・賑わいを創出し地域の価値を高める施設・運営づくりのエリアブランディングのデザイン 2. 周辺の緑豊かな自然とつながる建築：「地層」や「緑化」など、自然をテーマにした施設一体化のデザイン	

3. ラボと執務デスクの近接、機能が重なるグラデーション
ナルオフィスでアジャイルな開発環境を意図したデザイン

建築データ：

敷地面積：12,037 m² Bosch 棟：地上 7 階・地下 2 階、延べ面積 42,900 m² WCC 棟：地上 4 階・地下 1 階、延べ面積 6,170 m²

所在地：神奈川県横浜市都筑区中川中央 1 丁目 9 番 33 号

プロデューサー：

ボッシュ株式会社 下山田 淳+Johannes Grund+渡辺 和徳

ディレクター：

ジョーンズ ラング ラサール株式会社 坂本真純+ 株式会社大林組 佐竹浩 + 株式会社竹中工務店 大内靖志

デザイナー：

株式会社大林組 逸見篤俊、村田真悟、鈴木萌、千葉拓 + 株式会社竹中工務店 正田智樹 + 内装他：Arup+グローブシップ・ソデクソ・コーポレートサービス+小堀哲夫建築設計事務所+Degins JP

ウェブサイト：<https://corporate.bosch.co.jp/news-and-stories/fusion/>

受賞者氏名	小堀哲夫	
所属	デザイン工学部建築学科	
受賞年月日	2025 年 11 月 1 日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	法政大学理系同窓会	
受賞名	法政大学理系同窓会 特別賞	
受賞(研究)内容詳細	概要： 法政大学理系同窓会が、理工学・建築・デザイン・生命科学などの各分野において顕著な功績を挙げ、学術・技術・産業・社会・文化の発展に貢献した卒業生・修了生を顕彰する賞。 理系同窓会は、情報科学部、デザイン工学部、理工学部、生命科学部の卒業生・修了生等で構成され、母校への貢献や会員相互の交流を目的として活動している。 受賞理由： 「日本を代表する建築家としての活動」に対する功績が評価され、受賞。 建築設計の実務における国内外での活躍に加え、教育・研究活動を通じた建築界への貢献が評価された。	